

合併10年目の節目の年 平成大合併の総括を

3月市議会
加藤鉦一議員



いなば幼稚園卒園式から(20日)



藤島こりす保育園卒園式から(18日)

安倍「暴走」政治を止める 共産党の県議が鶴岡から必要です!!

関とおる



「今年の米価はどうなるの?」と不安の中、稲の種もみ処理が始まりました(20日、大半田)

鶴岡市議会3月定例会最終日の24日、加藤鉦一議員は討論の中で、平成大合併に関連して次のように述べました。

☆ ☆
人口減少対策では、旧町村の出生数が激減しており、市中心部と旧町村の人口格差が拡大しています。
しかし、市当局は地域庁舎から職員を削減し、学校給食や保育所の民営化、小学校の統廃合を進め、地域の衰退を加速させています。

地区公民館の廃止とコミュニティセンター化は社会教育の後退となり、地域再生の推進主体となる住民の力量を高める社会教育のネットワークを活かすことこそ求められます。税務業務の本所集約や、藤島こりす保育園・くりくり保育園の民営化の検討は止め、地域庁舎に職員を増員し、予算と権限を思い切つて拡大し、周辺部から地域再生を図るべきです。

の入学生が99人の見込みで、4学級には1人足りずサンサンプラン33人の3学級になる見通しです。
サンサンプランが実施された平成14年の3年前、平成11年4月、藤島中学校の1年生が160人で5学級に1人足りず、40人学級4クラスとなることから、学級数削減による教員数の減る分を町単独で2人、教員配置を実施した歴史を持っています。

地域の核となつている長い伝統を持つ学校を、複式学級解消を目的に統廃合を進めることに反対します。

新年度はスクールテイチャーを1人増員し2人にするといいますが、こうした状況に柔軟に対応し、少人数学級の実現を図るべきと考えます。

統合で学校規模が大きくなり、子どもたちの問題が見えなくなつたり、地域との関わりが希薄化する、教職員が多忙になるなど指摘せざるを得ません。

新年度は平成大合併から10年目の節目の年であり、合併の総括が欠かせません。
今回政府予算では、合併算定替の交付税上乗せ総額9500億円の7割にあたる6700億円程度が最終的に合併自治体に確保されることが明らかとされました。

これまで「合併算定替えの終了に備える」として行財政改革を進め、基金は合併時の50億円から140億円に2・8倍に造成されましたが、過度な自治体リストラを改め、基金は市民要求の実現に回すべきです。

東田川文化記念館郷土研究サークル 第19回総会開く

阿部博光、早坂清輔両氏が会員発表



大井茂会長



阿部博光さん



早坂清輔さん

郷土研究サークルは、東田川文化記念館に協力する組織として、活動内容を苦汁検討し1997年発会されました。

同館のガイド、事業の協力（地域連携講座「庄内の大地を歩く」企画・運営（この講座から「午前座学・午後現地研修」の学習方式が確立）、県外一泊研修（初回は青森の「三内丸山」、古文書・歴史遺産などのグループ活動などを行ってきまし

た。現在、大井茂さんを会長に会員36人、当初は20人弱が年々会員が増え、特に女性会員の増加が目立っています。総会は事業報告・決

算・予算などを承認後恒例の会員発表がありました。

阿部博光さんが「検約令と農村生活」として、江戸後期の検約令古文書「惣百姓衣類之儀、絹類用候事男女とも堅停止。」「平日八不申及、近キ親類会合之節も、酒飯を始、無用費無し是質素に可致候。」などと解説、「百姓は男女とも絹の着物は停止」「平日でも親類の集まりの酒飯は質素に無駄な出費をするな」と解説しました。

また早坂清輔さんは「法眼寺・因幡公と因幡堰」として、法眼寺、最上義光重臣・新関因幡守久正、因幡堰開削この3つの関わりを近年までの歴史を通して詳細に発表されました。

（青山）

時事川柳

小玉屋

・敗戦の痛み忘れて軍拡す
・徴兵制度復活を見据える
集团的自衛権



しんぶん赤旗3月20日付

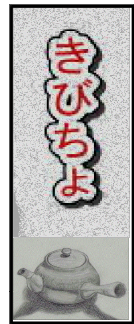
「殺し殺される戦争立法」づくりは中止を！

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

自公両党は、20日「安全保障法制整備の具体的な方向性について」を発表した。昨年7月の集团的自衛権の閣議決定を受けて作成され

たもので、政府は5月中旬に法案を国会提出という。志位委員長は「戦争立法」の法案化作業を中止せよ」と談話を発表した。

自衛隊は1950年、憲法を気にし真意を偽って「警察予備隊」（↓保安隊↓自衛隊）として発足させた。高校生だった私は、「戦争が終わって5年しかたつていないのに再軍備の音がする。」と危機感を日記に書いた。それから



「きびちよ」でも

憲法を変えて戦争する国にするには、まず96条を変えてと考えてみたが、国民の反対の声でダメ。それよりは今の九条でも集团的自衛権は行使できると考えることを思いついて閣議決定し、動き出す。

▼だが、保治国家ではそんなことは許されないヨと、各方面からどんなに注意・批判されても積極的平和主義者はどんだん戦争できる国へと進めてきた。

▼アメリカと一緒に戦争する国にするのではないかと質されても、そんなことはないと答えていた首相だが、今では、どこでも、どこでも、という法体系になってきている。

▼国会の数ではどんなことでも通る数だし、もう2年間は国政選挙がないんだからと、ヤリデーホージという

65年、その危機が目前にせまり阻止しなければと強く思う。

そのゾットする内容。周辺事態法の盛んな議論が行なわれた「日本周辺」から地球規模に一举に拡大、海外派兵恒久法を新設しいつでもどこでも米軍支援、PKO法改定で武器使用可能、集团的自衛権を法制化などである。まさに最高法規である平和憲法を破壊するものである。

ころ。

▼暮れの選挙で自民党に投票した人達は、そんなこと迄お任せしたのですかと聞きたい。

▼自衛隊員に出している家から心配の声が出ている。今までは後方支援だから危ない所へは行かせないと言っていたんだが、使う武器も大型になると言っているし、どこにヤラレルかわかりませんしネ。

▼与党を組んでいる公明党は平和の党だ、福祉の党だと言いなから、デージンのイスのため、チヨットだけ反対を言つては全てに賛成している。自民党のブレーキになるとも言ってきたんだが、時にはアクセルになったこともあったりして。

▼だから、平和の党だからとこちらに投票した方々も、これでインデスカイ。戦死者が出ることになるんだゾ。早いトコ、どっちも反対をタイドで示めそうヨ。俺も参加するからサ。（石川）